

第47回獣医学特別セミナー

「野兎病菌の病原因子同定と、
感染防御に必要な宿主因子の検索」

宇田 晶彦 先生

(国立感染症研究所 獣医科学部)

2019年7月2日 (火) 17:30 - 18:00

農獣医学部棟2階 大会議室

野兎病菌 *Francisella tularensis* は二種病原体に指定される高病原性の細菌で、バイオテロへの応用などが危惧されている。通常はウサギ目や齧歯目の動物とマダニなどの節足動物の間で生活環が維持されているが、節足動物の吸血や動物の解体によりヒトへと感染する。しかしながらBSL3に分類され、研究が難しいことからその病原性の解明はほとんど進んでいない。宇田晶彦先生は国立感染症研究所獣医科学部において、野兎病の疫学調査から基礎研究まで幅広く実施されており、今回は野兎病菌の病原因子および、宿主の防御因子について講演いただく予定です。

連絡先：清水 (5895)、柳田 (5914)、島田 (5909)